

「チラシマップ制作プロジェクトの報告」

清泉女学院大学 人間学部 心理コミュニケーション学科、
現代コミュニケーションコース、小泉ゼミ

プロジェクトの目的

- ・「現代コミュニケーションコース」

情報メディアの知識と技術を学び、社会の問題
や課題解決のための情報メディアの応用性を
探っています。



須坂市中心市街地への観光客の誘致のため
の観光ツールの制作に取り組みました。

2、プロジェクトの流れ

日程 工程	10/3	10/25	11/11	11/13	11/27	11/29	12/4	12/11	1/29
フィールドワーク									
チラシマップ とは									
デザイン案 決定									
制作									

フィールドワーク in 須坂

《デメリット》

- ・ 歩いている人が少ない
- ・ 何のお店かわからない、入っていいのかわからない
- ・ 観光客は歩かず、バスを使っていた

⇒ 目的地に直行する観光客

《メリット》

- ・ 非日常があって良い
- ・ 道が綺麗な印象があった

⇒ 気づかない 気づかれない 場所の発見！！

⇒ 須坂に住む人の日常は、私たちの非日常！！

フィールドワーク in 須坂

《デメリット》

- ・ 歩いている人が少ない

中心市街地のまち歩きを促進するための補助的観光ツールとしてのチラシマップの提案

《メリット》

- ・ 非日常があって良い
- ・ 道が綺麗な印象があった

⇒ 気づかない 気づかれない 場所の発見！！

⇒ 須坂に住む人の日常は、私たちの非日常！！

フィールドワークの様子(写真)



チラシマップのアイデア

1.「まち歩き」の考え方

- ・ 見えているものを、よく見る
- ・ 見えない記憶をたどる → まちの歴史を感じる

2.まち歩きにはテーマ設定が必要

- ・ まち歩きはただ歩けばよいというものではない
- ・ テーマを設定する事で、まちの魅力やおもしろさを引き出す事が出来る

町歩きタイトルとコンセプト

コースタイトル:

- ・ 「須坂でゆっ蔵しません？一旅先寄り道まっぷ」

コースのコンセプト:

- ・ 蔵のまち須坂で非日常を感じながらゆっくりとした時間を過ごす

- 寄り道スポットの中でコンテンツを加えたのが、『綿幸サロン』『みそすき丼』『まゆぐら』『クラシック美術館』『塩屋』『墨坂神社』の6つ

- 例)蔵のコンビニ、鐘のゴミステーション、外国人に会えそうなカフェ

[illegible]

制作作業①

使用ソフト:

・Illustrator & CLIP STUDIO PAINT PRO

制作期間: 平成27年12月上旬～平成28年1月29日

・紙の大きさB4

→持ち運び易さを考慮

・デザイン

→コースタイトルと合わせて考え、「きっちりとした中にやわらかさ」を意識

・色

→”味噌を連想させる色”と合わせ、親しみやすさを出すためオレンジを基調に

→まち自体は、昔ながらの蔵のまちなみや歴史を感じさせ、落ち着きがある印象トーンを濃くし、テーマの”寄り道”感を出すため全体として軽い色合いに

・構図

→デザインは「蔵」を意識

ところどころ手で描いたり丸みを持たせることでゆっくり、ゆったりした雰囲気イラストも手描き

制作作業②

苦勞した点:

・手に取ってもらうためにどうしたらいいか

→色やデザインを今までになかった感じにする

→親しみやすい手書きのイラストや地図

・須坂のよさを知って、興味を持ってもらいたい

→しっかり文章で説明する

→須坂を知る面白さを伝え、チラシマップのコンセプト

「ゆっ蔵しませんか」に合わせた一文を入れる

・地図と文字の配置やバランス

町の並みのイラストと説明文



感想と提案

- 当初、町を歩いていた時は目に入る町並みが景色でしかなかったが町や建物の歴史を知った時、魅力的な町並みに見えた。

提案

- ・現在、駅前から町中には須坂の町の歴史を示す案内板が存在するが目に留まりにくい。そこで駅前広場で蔵の町須坂のイメージ作りをすることで町中にある案内板に目を向けることができると考える。

- ・このようなチラシマップを紙情報ではなく、スマホで利用できる観光アプリに対応したものにしていく。

ご清聴ありがとうございました。